

令和3年

行田市新成人を祝う会実行委員会 ハタチの抱負

式典の企画・進行は新成人で構成する実行委員会が中心となって行いました。この式典の企画を行ってきた実行委員長と副実行委員長に二十歳を迎えた心境や抱負などを語っていただきます。

これからに向けて

実行委員長 三澤 滉大さん(南河原中学校出身)

感染症の流行により世界の情勢が目まぐるしく変化している中、成人という大きな節目を迎えることができました。こうして、様々な経験をし大人としての一歩を踏み出すことができたのは家族をはじめ、友人、先生方、地域の皆様の支えがあつてのことです。深く感謝申し上げます。



さて、『幸』という漢字を分解してみると「+、-、=、-、+」になります。つまり、幸せには波があり、一人一人に「幸せ」な時と「不幸せ」な時があるということです。私たちはこれからも今までのように、楽しいことや辛いことをたくさん経験すると思います。特に、社会に出たばかりの私たちは、些細なことで感情が揺さぶられることもあるでしょう。楽しい時は目一杯笑い、辛い時は友人や家族に支えていただきながら乗り越えていきます。まだまだ未熟であるため、時には、反発することもあるかもしれませんが、そんな時は温かく見守っていただけたら幸いです。結びになりますが、支えてくださった皆様へ新成人を迎えることができたことに感謝申し上げます。これから先、心配やご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、引き続きご指導どうぞよろしくお願い致します。

共に学びながら今を生きる

副実行委員長 田中 綾萌さん(埼玉中学校出身)

私たちは、人生の一つの節目である「成人」を迎えることができました。こうして皆様と一緒に祝いできるのも、家族、友人、先生を初めとする多くの支えがあったからです。この場をお借りし、行田市の新成人を代表して深く感謝申し上げます。



さて、これからの社会では、私たちを取り巻く環境が目まぐるしく、そして予想だにしない方向へと変わっていく中で、私たちが生きていくにはどうすれば良いのか。私は、「共に学びながら今を生きる」ことであると思います。「教育とは人生の準備ではなく、人生そのものだ」と、アメリカの教育学者、ジョン・デューイが残しています。つまり、人は日々、学びながら、今のために今を生きていくのです。さらに一人ではなく、周りの人々と共存しながらここにいます。その中で「自分らしさ」を見つけていくのです。この先、何が起るかわかりませんが、「共に学び」、そして「今を生きる」ということを胸に置きながら、日々精進していきたいと思えます。結びに、このような状況下で「成人式」という場を設けてくださり、誠にありがとうございます。また、これまで以上に全力を尽くしてまいりますので、引き続き、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



令和3年 行田市新成人を祝う会

1月10日、産業文化会館ホールで令和3年行田市新成人を祝う会が開催されました。今年の新成人は、平成12年(2000)4月2日から平成13年(2001)4月1日に生まれた市内在住の方および市内出身の方830人です。華やかな振り袖やかま、スーツに身を包んだ新成人の皆さんが新たな門出を迎えました。

今年の行田市新成人を祝う会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、午前(一部)と午後(一部)に分かれて開催。入口での検温、手指消毒の他、会場内ではオゾン発生装置の設置、換気の実施やソーシャルディスタンスを考慮した座席配置を行うなどの感染予防対策を徹底し、また、オンラインで参加できるよう「YouTube」を活用したライブ配信も実施しました。

式典では、石井市長から「人は、変化のときこそ変わることが出来ます。人生の節目で新たな出発をし、チャレンジ精神を持ちながら実りある生活を送ってください。また、一生の友を大切に、思いやりの心を持ってください」と励ましの言葉がありました。

続いて、二十歳の主張では、第一部で忍中学校出身の熊木迅さんが「自分はこれまで自分勝手な行動により、家族や友人と何度もぶつかり合いました。これからは、感謝の気持ちを忘れず、相手の意見を聞き、立派な大人になります」と、第二部で長野中学校出身の小林尚生さんが「責任ある大人としての自覚を胸に、家族や友人などに改めて感謝していきます。未来を担う者として、明日を信じ、前に一歩踏み出していきます」とそれぞれ力強く述べました。

▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319

